



MORIYA

守谷市

肢体不自由・医療的ケア児者等の 災害時対応ガイドブック



令和 6 年 3 月発行

はじめに

地震や台風、局地的大雨など、自然災害はいつ起こるか予想できません。

そして災害は繰り返し起こります。

自然災害は避けることが出来ませんが、「備え」があれば被害を小さくすることは出来ます。

「車椅子に乗っているけど、避難所での生活は心配だな…」、

「医療機器を使っているから、停電が続いたらどうしよう…」など。

持病や障がいのある方、またそのご家族は、より不安な気持ちを抱えている方も少なくありません。

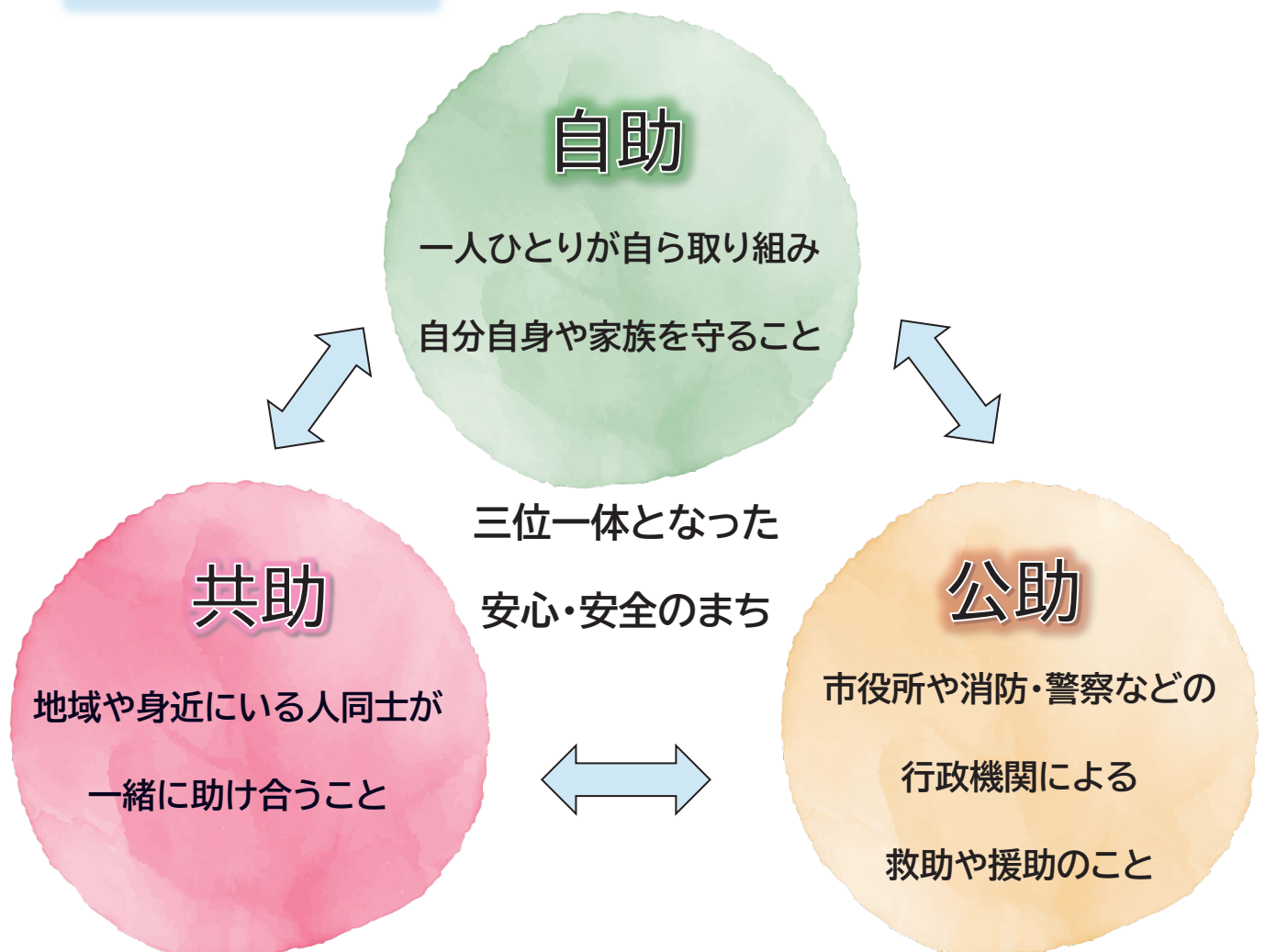
ここでは肢体不自由・医療的ケア児者等の災害対策について、どんな備えが必要か、

またどのような支援があるのかなど、役立つ情報をガイドブックとしてまとめました。

そして、支え合いの地域づくりを目指すためにも、障がいのある方やそのご家族だけでなく、

皆さんでこのガイドブックを活用していただき、知識を深め、災害への備えとなれば幸いです。

自助・共助・公助



医療的ケア児者は、医療機器を使用している方が多く、長時間の停電や断水があると生命の危険も伴います。

車椅子を使用している方も多く、まずは自宅避難を第一選択肢として考えている方も多いです。

「自助」、「共助」、「公助」の適切な組み合わせを念頭に置きながら、防災対策を積極的に進めていく必要がありますが、「共助」や「公助」が受けられるまでに時間がかかる可能性があるため、まずは「自助」をしっかり備え、減災していくことが大切です。

いざというときに「自助」の力が発揮できるように、この機会に考えてみましょう。

もくじ

はじめに.....	2
1、想定される災害を知り、対策をたてましょう.....	4
2、緊急時の連絡先を確認しておきましょう.....	8
3、停電に備えましょう.....	9
4、医療的ケアに必要な用品を準備しておきましょう.....	13
5、肢体不自由児者の避難について考えよう.....	15
6、その他確認しておく役立つ情報.....	17

障がいのある方や医療的ケアが必要な方のための 「災害時対応ノート」も合わせてご活用ください。

「災害時対応ノート」は、災害時に冷静に、そして安全に行動ができるように、日頃行っている医療的ケアの内容や、災害時に連絡する関係者リスト、災害時に備えての準備リストなど、一人ひとりの状況に合わせて記入していただくためのものです。

1、想定される災害を知り、対策をたてましょう

(1) 守谷市で想定される災害は？

守谷市の場合、利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれており、局地的大雨、大型台風等により川が氾濫し浸水する、または土砂災害が発生することも考えられます。想定し得る最大規模の洪水に対する避難体制を強化するため、「守谷市防災ガイドブック」が作成されています。また、「守谷市防災ハザードマップ」で、地域の危険な区域や避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。



守谷市防災ガイドブック

ガイドブックにはハザードマップが織り込まれて川が氾濫した場合の浸水の深さ、避難場所などを掲載しています。災害発生時に皆さんが取るべき行動の確認や、事前の備えとして、ぜひご活用ください。

リーフレット版も配布しています。

問い合わせ先：守谷市生活経済部交通防災課

TEL：0297-45-1111(代表)



(2) 避難の必要性は？防災情報を入手しよう

災害時は、いつ避難するべきかどうを見極めることがとても大切です。

肢体不自由・医療的ケア児者等は、避難をするために多くの荷物を準備したり、移動にも時間がかかります。

災害時の避難は、指定避難所への避難だけではありません。特に風水害など、あらかじめ準備ができる場合には、知人や親戚宅などに避難する「遠方避難」、自宅が安全な場所にある場合には「在宅避難」も有効です。

浸水が想定される場合は、自宅などの2階以上に避難する「垂直避難」もできるよう、水や食料などを2階以上に備蓄しておくのもおすすめです。

また、災害時は不確かな情報やデマが広がりやすく、不安な心理状態では誤った情報も信じてしまいがちです。誤った情報に惑わされないためにも、守谷市や公的機関が発信する防災情報を入手するようにしましょう。各種メディアで防災情報を十分に把握し、避難した方が良い状況かどうかを判断しましょう。

守谷市公式アプリ Morinfo (もりんふお)

市民生活の利便性向上と安心安全なまちづくりを進めるため、双方向型の新しい情報発信ツールとして運用しています。



メールもりや -守谷メールサービスシステム-

守谷市では、メールサービス(メールマガジン)で災害・防災情報を提供しております。



守谷市公式 SNS

災害発生時や災害の危険がある場合に、避難情報の発令状況や避難場所の開設情報などを発信します。

X
(旧 Twitter)



Instagram



Facebook

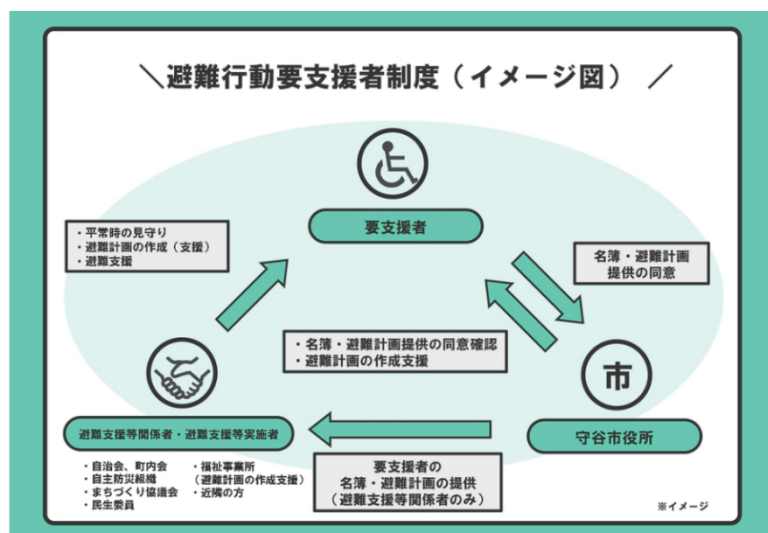


(3)避難を支援してくれる人

避難しなければならない状況においては、家族だけでは避難が困難な場合があります。

災害時に迅速なサポートを受けやすくするためにも、平時から近所の人などにご本人の状況を伝えておき、協力を頼めるような関係づくりをしておくといいでしょう。

また、「守谷市避難行動要支援者名簿」に登録しておくことで、自治会・町内会、自主防災組織、民生委員・児童委員、守谷市社会福祉協議会、取手警察署、守谷市消防団などに名簿の情報が提供され、災害発生時に避難支援を受けられる可能性が高まります。(事前登録制)



守谷市 HP より

・守谷市避難行動要支援者名簿 ・個別避難計画

問い合わせ先

守谷市健康福祉部社会福祉課

TEL : 0297-45-1111(代表)

守谷市では「個別避難計画」の作成も順次進めています。

「個別避難計画」とは・・・避難行動要支援者(避難支援が必要な方)一人ひとりについて、災害発生時の「避難支援等実施者(避難支援をする方)」、「避難先」等をまとめた計画書のことです。災害時の避難に必要な支援内容を事前に決めておくことで、避難を円滑・迅速に行うことができます。

(4)福祉避難所等の受け入れについて

守谷市は最寄りの小中学校等を指定避難所に指定しています。地域における情報提供や物資の配布は基本的にこの指定避難所で行われます。

高齢者や障がい児者等で、指定避難所では十分な支援を受けられないと判断される場合に、市と協定を締結している施設等に福祉避難所を開設し、生活の場を確保します。

福祉避難所は、災害発生時にただちに開設される避難所ではありません。

なお、福祉避難所には医療的ケアを実施する体制は確保されていません。ご本人・ご家族ご自身で必要なケアをしていただくことを前提に、日頃から非常用持出品の準備をしておきましょう。



(5)守谷市役所の「医療的ケア児等コーディネーター」

医療的ケア児等が在宅生活において必要とする医療・福祉・教育等の支援を総合的に調整し、地域の関係機関におけるサービス利用等を充実させるため、守谷市では医療的ケア児等コーディネーターを配置しています。

ご本人・ご家族、各機関の支援者の方々等、医療的ケアが必要な方に関してお困りの際は、お気軽にご相談ください。

医療的ケア児等コーディネーターが配置されている課

- ・健幸長寿課
- ・おやこ保健課
- ・のびのび子育て課

(6)ヘルプマークやヘルプカードがあると災害時も安心です

障がいのある方などが、災害や緊急時、また日常生活で困ったときなどに、緊急連絡先や必要とする支援内容などを記載し、周囲の方に提示して支援を求めるものです。

申請方法：「守谷市ヘルプマーク・ヘルプカード交付申請書」を社会福祉課にご提出ください。



ヘルプカードは防水のカードケースに入れて所持しておくくと破損せず、持ち運びにも便利です。



(7)室内の環境を整えることで被害を減らすことができます

医療的ケアを必要とする方が過ごす部屋の環境を整えておきましょう。

室内の環境も災害時の対応に大きな影響を及ぼします。

転倒防止対策をすることで、ケガだけでなく機材の破損防止にも役立ちます。また、家具の転倒で部屋の入口が塞がれてしまい、家族が本人のもとへ駆けつけることができなくならないよう、家具の配置にも気を付けましょう。

対策の例

- ・家具を固定する。

(家具の転倒防止は、ケガだけでなく医療機器の破損防止にもなります)

- ・医療機器の下に滑り止めシートを敷いておく。
- ・頭上に物を置かないようにする。
- ・窓ガラスが割れて飛び散らないようにフィルムやテープを貼る。
- ・ベッドのキャスターはロックしておく。
- ・肢位調整のクッションやバスタオルを用意しておく。

(停電すると電動ベッドのギャッジが変えられないため)

- ・呼吸器回路の破損に備えて予備を用意しておく。
- ・コンセントのアンペア数が守られているか確認する。 など



(8)マイ・タイムラインを作成してみよう

災害時には個人の防災行動計画(スケジュール表)であるマイ・タイムラインを事前に作成しておくことで、いざというときの避難に役立ちます。茨城県のホームページでは、マイ・タイムラインの作成手順や作成に関する大切なことを紹介しています。

近年は、大型の台風や豪雨による被害も増大しています。この機会に、自分自身がとる防災行動を考え、整理してみませんか。

マイ・タイムライン

茨城県のホームページに詳しく掲載されています。

(守谷市防災ガイドブックにも掲載あり)

茨城県ホームページ



通常のマイ・タイムラインのポイントを絞って簡略化した「我が家のタイムライン」もあります。



2、緊急時の連絡先を確認しておきましょう

災害時には、携帯電話や固定電話、公衆電話は繋がりにくくなることがあります。電話以外の方法での連絡手段、連絡すべき相手をあらかじめ考えておきましょう。

災害時には、主治医や訪問看護ステーション、医療機器取扱業者等に安否や、どこで・どんな状況にあり、何が必要かを伝えましょう。関係者の緊急時メーリングリストは一度に多くの関係者に連絡する一つの手段になります。

災害時でも利用しやすい連絡方法

- ・E-mail、SMS(ショートメール)
- ・メッセージ送信アプリ(LINE、メッセージなど)

※インターネットを媒体とした通信手段が有効です

安否確認に有効な手段

- ・災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)
- ・スマートフォンで位置情報を確認できる(無料)アプリ

「災害用伝言ダイヤル」利用方法

「171」をダイヤル(ガイダンスが流れます)

伝言の録音

伝言の再生

「1」をダイヤル

「2」をダイヤル

暗証番号を利用する録音の場合

暗証番号を利用する再生の場合

「3」をダイヤル

「4」をダイヤル

被災地の方の電話番号(必ず市外局番から)をダイヤル

伝言を入れる

伝言を聞く

「災害用伝言板」利用方法

<https://www.web171.jp>にアクセス

電話番号を入力

伝言の登録

伝言の確認

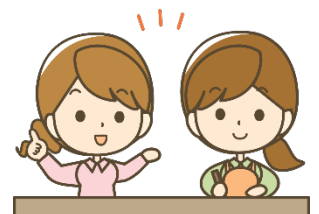
「伝言を登録する」をクリック

「伝言を確認する」をクリック

伝言を登録する

伝言を確認する

相談支援専門員さんや介護支援専門員さん、
訪問看護師さん、地域の保健師さん達と日頃
からつながりを持っておくと良いですよ。



関係者の連絡先リストは、災害時のみに関わらず
何かあったときにすぐに連絡できるように、目に付く
わかりやすいところにおいておくとう便利です。

3、停電に備えましょう

医療的ケアが必要な方にとって、停電により医療機器の電源が確保できないことは、生命の維持に支障をきたす大問題です。

停電が長時間続いた場合、どうやって電源を確保するのか、また、電源を使用しない対策を考えて準備しておきましょう。近隣の緊急医療機関も確認しておきましょう。

(1)東京電力パワーグリッドへの登録

関東在住の方は、東京電力パワーグリッドに医療機器を使用している旨を伝え、事前に登録しましょう。(契約している電力会社が東京電力でない場合でも登録可能です。)

停電発生時、復旧に時間がかかりそうな場合は、「東京電力パワーグリッド」より停電状況の確認の連絡が入ります。 ※大規模停電の場合は、停電復旧が優先されます。

電源の確保が困難な場合は、東京電力パワーグリッドより可能な限り小型発電機が貸し出されます。 ※自身でも予備のバッテリーを準備することが望ましいです。

【東京電力パワーグリッドコンタクトセンター】

電話番号:0120-995-007

受付時間:9時から17時(日曜日、祝日、年末年始を除く)

※停電など緊急の用件については、全日24時間対応。

《実際に災害時に停電が続いたら》

東京電力パワーグリッド(電話番号:0120-995-007)に連絡して以下の点を伝えましょう。

〈東京電力パワーグリッドに伝えること〉

- ① 自宅が停電していること
- ② 電源を必要とする医療機器を使用していること
- ③ 住所、氏名、連絡先(携帯電話の番号)
- ④ 現在の電力確保の状況

(例:内部バッテリーと外部(予備)バッテリーを合わせてあと〇〇時間も持ちます。
それ以上停電が長引くと、電源を確保する手段がありません。等)

※電話が繋がらない場合はパソコンやスマートフォンで電力会社のホームページの停電情報を確認してください。

(2)緊急時に電源を確保する方法を考えておきましょう

使用している機器や自宅の状況に合わせて、複数の外部電源を確保しておきましょう。また、電源装置を備えるだけでなく、すぐに使えるように日頃から使用方法の練習やメンテナンスを行うことが大切です。

①外部バッテリー

ご使用の医療機器専用の外部バッテリーを用意しましょう。停電が長時間におよぶ可能性を考慮し、複数個のバッテリーを準備しておくことで安心です。必ず、メーカー正規品または医療用の非常用携帯バッテリーをご用意ください。バッテリーは経年劣化します。劣化により、充電時間が長くなったり、供給できる時間が短くなることがあります。メーカーの保証期間を確認しておきましょう。



非常用バッテリー

②UPS(無停電電源装置)

常時接続しておくことにより、電源が切断された場合でも、接続されている機器に対して、一定時間電力を供給し続ける装置です。停電直後の人工呼吸器等の停止を予防するためにUPS を接続しておけば、停電が起こると、瞬時に自動で電源供給され、機器が突然停止することを防ぐことができます。

※自動的に外部電源と切り替わる機能のある医療機器もあります。



③蓄電池

蓄電池を平時に充電しておくことで非常時の電源として使用できます。医療機器を使用する本人や介助者が使用・運搬可能な、一般的なコンセント形式のものを選ぶようにしましょう。

購入する他に、レンタルという方法もあります。

※蓄電池を医療機器に接続することは避け、外部バッテリーを充電するために使用しましょう。



蓄電池

AC 電源(壁のコンセント)から内部バッテリーのある機器へ切り替えておくと、もしものときに安心です。

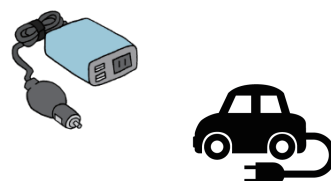


④自動車から電源をとる

自動車から電源をとる方法は、車種によって異なりますのでご自宅の車の場合はどの方法が該当するのか、確認しておきましょう。また、車で電源供給を考える場合には、平時からの車の保管場所に留意しましょう（大雨時に水没しないか、地震で下敷きにならないか等）。災害時における電気自動車の活用促進については、国土交通省、経済産業省などの情報（「災害時における電動車の活用促進マニュアル」&「電動車活用促進ガイドブック」）も御参照ください。

※自動車から電源をとる方法の例

- シガーソケット(アクセサリースOCKET)から
- 100V コンセントから
- 充電専用の USB 端子から
- Vehicle to Home(V2H)機器を用いて車に蓄えていた電気を家の中で使う



〈自動車から安全かつ効率よく電源を取るための注意点〉

- ・エンジンを起動した直後は、電流の乱れや、高流量な電気が流れることがありますので、普通のガソリン車では、必ずエンジンを先に駆動させてから機械につなぎましょう。
- ・ガソリンを使用する車では、ガソリンの残量に注意してください。
- ・ガソリンで長時間エンジンをかけている時は、一酸化ガス中毒にも注意してください。
- ・インバータだけではなく自動車のバッテリーの故障の原因ともなりますので、容量を超えた電気を使用しないでください。
- ・車種によって搭載されているバッテリーの容量は異なります。また、車の電気供給のシステムや、車の使用状況により、車に搭載されているバッテリーの充電状況も違いますので、車を非常用電源として使用する際は、あらかじめ車の販売店に安全な使用法をお問い合わせください。
- ・人工呼吸器や酸素濃縮器の電源を車から直接取ってしまうと、車中泊しなくてはならなくなってしまうので、外付けバッテリーへの充電を考えてください。
- ・車とケアが必要な方が離れている際には、車中泊を防ぐためにも、防水加工の施された十分な長さの電源コードが必要となります。
- ・インバータから供給できる電力は小さいので、集合住宅などにお住まいで延長ケーブルが非常に長く必要な場合にはケーブルによる電気ロスを考慮することが必要です。
- ・停電発生後に電源確保の作業となるので、普段から夜間停電を想定したトレーニングが必要です。
- ・電源確保の手段として自動車のエンジンを使ってしまうと、移動手段としての自動車の利用が難しくなることがあるので注意してください。
- ・電気自動車などから供給される電気は「疑似正弦波」であり、メーカーとして医療機器などへの使用を推奨していない点をご理解ください。



⑤自家用発電機

発電機を人工呼吸器などの精密機械に使用することはどのメーカーも推奨していません。発電機の購入を検討する際は、必ず主治医や医療機器取り扱い業者に相談し、外部バッテリー等の充電用に必要となる場合は、医療機器を使用する本人や介助者が使用・運搬可能な正弦波インバータ発電機を選ぶようにしましょう。

代表的なものとしてガソリンタイプとカセットボンベタイプがあります。性能によって大きさも価格も上がります。また、発電機は必ず屋外で使用します。使用時の音が大きいため、使用の際はご近所からの理解が得られるよう、事前に事情を伝えておくとういでしょう。

〔発電機のタイプ〕

種類	メリット	デメリット	価格目安・備考
カセットボンベタイプ 	・家庭用カセットボンベ2本で作動させるので、入手と保管がガソリンと比べると手軽(2本で2時間駆動)	・気温が低いと(5℃以下)うまく機能しないことがある	・10万円ほど ・家庭向け
ガソリンタイプ 	・駆動時間が長い ・ガソリン2.1ℓで3.5～7時間ほど(900Wのタイプ)使用可能	・メンテナンス(3か月～6か月に一度エンジンオイル交換)が必要 ・ガソリンの保管と定期的な交換が必要	・15～40万ほど ・事業者等向け

【ガソリンを自宅で使用する際の注意点】

ガソリンを自宅で保管することは大変危険です。ガソリンは、消防法上の危険物に該当し、指定数量(200リットル)の2分の1以上指定数量未満の量(100リットル以上200リットル未満)の危険物を貯蔵または取り扱う際には、所轄消防署長に届出をしなければなりません。また、指定数量の5分の1以上の量(40リットル以上)の危険物を貯蔵または取り扱う時には、消火設備や空き地の確保、建築設備の制限などが必要となりますので注意しましょう。

- ・必ず専用の携行缶に保管する
- ・通気性の良い屋外の物置などに置く
- ・最低でも3か月に1回は入れ替えをする
- ・自動車のタンクからガソリンを取り出す場合は自動車のガソリンを半分以上入れておく

4、医療的ケアに必要な用品を準備しておきましょう

ライフラインの復旧に時間がかかる場合に備えて、最低でも7日分の用品を備えておきましょう。あらかじめ用意できない物がある場合は、災害時にどこで手に入るかを主治医等に確認しておきましょう。また、自宅が被災する場合に備えて、自宅以外の場所にも用品を保管しておけるとよいでしょう。準備リストと一緒に確認しておきましょう。

(1)人工呼吸器を使用している場合 	○蘇生バッグ (アンビューバッグ) 	停電や機器の故障時に、手動で呼吸を確保する道具です。いつでも使用できるようにすぐに手の届く場所に用意しておきましょう。 手動で使用するため、長時間使用する際には交代で押し続ける必要があります。できれば家族みんなが使用できるようにしておきましょう。
	○外部バッテリー 	停電時に電源を確保するためにも、外部バッテリーへの接続ができるように備えておきましょう。また、平時から定期的に充電を心がけておきましょう。 (※フル充電で何時間使用できるか確認しておきましょう。交換時期は2年が目安です。)
	○人工鼻 	人工呼吸器を使用する際に用いる加温加湿器の代わりに、人工鼻を使用することで加湿を行うことができます。人工鼻の使用は、かかりつけ医に相談してください。
	○予備の呼吸回路一式 	機器の破損に備えて、予備の回路を一式用意しておきましょう。
(2)吸引器を使用している場合 	○電気を使用しない吸引器 	電気が無くても使用できるタイプの吸引器を準備しておきましょう。 (※シリンジ+吸引カテーテル、手動式吸引器、足踏み式吸引器など)
	○予備の吸引チューブ 	平時の吸引回数を考慮し、7日以上分の量を用意しておきましょう。

(3)酸素濃縮器 を使用している 場合 	○携帯用酸素 ボンベ、 予備の酸素 ボンベ 	すみやかに携帯用酸素ボンベへの切り替えが必要となります。災害の混乱時には平時のように酸素ボンベが手に入りにくくなることが考えられますので、予備の酸素ボンベを用意しておきましょう。また、販売業者に災害時の対応を確認しておきましょう。
	○予備のカニユーレ、 延長チューブ	携帯用酸素ボンベとまとめて用意しておきましょう。
(4)経管栄養が 必要な場合 	○経管栄養剤 	断水により水の確保が困難になることが想定されます。経管栄養剤、お湯、経管注入用等の水を用意しておきましょう。 (※経管栄養剤や水には使用期限があります。定期的に確認しておきましょう。)
	○予備の注入ボトル、 接続用チューブ、 シリンジ 	災害時、水が使えなくなることを想定して、経管栄養に必要な備品を用意しておきましょう。
(5)電動ベッド を使用している 場合	○手動で操作できる ハンドル 	一部のベッドには、停電時に手動で操作できるハンドルがついているものがあるので、平常時に確認しておきましょう。
(6)その他	○薬品、 処方箋	常に 7 日分以上を所有しておきましょう。「災害時対応ガイドブック」と一緒に最新のお薬手帳のコピーを入れておきましょう。
	○グローブ、 アルコール綿、 蒸留水	災害時、水が使えなくなる場合があります。医療機器を扱う際には常に清潔を保つことが重要です。代用品を備えておきましょう。
	○懐中電灯	災害は昼間に発生するとは限りません。平時からすぐに手に届くところに置いておきましょう。介護用にはランタン型やヘッドランプ型が有効です。電池也多めに準備しておく心安心です。
	○ラジオ	テレビ、携帯電話、スマートフォンが使用できない場合、ラジオで災害の情報を確認することができます。電池式や手回し式を準備しましょう。

5、肢体不自由児者の避難について考えよう

～自力歩行や素早い避難行動が困難～

肢体不自由の方は、病気やけがにより、「立つ」「座る」「歩く」など日常生活での動作が困難です。災害発生時、まず直面する問題が「避難」です。体を動かすことに支障があることが多いため、自分の体を守ることや自力で避難・脱出することに、時間を要し介助を必要とします。

また、行動に制限があるため、多くの方が車椅子や杖などの福祉用具や日常的な介助を利用して生活をしていることから、避難生活においても食事や排泄、入浴、移動などにサポートが必要です。運動機能の障がいといっても、その原因は神経系、脳、骨、関節、筋肉などさまざまで、症状や障がいの種類も手や足、体など一人ひとり状況が異なります。

(1)災害発生時の安全確保について考えておきましょう

- ・寝室は、なるべく落下物や倒れてくる家具などが少ない安全な空間を確保しましょう。
- ・頭部を守る物(ヘルメット・防災ずきん)を手の届く所に置いておきましょう。
- ・車椅子(バギー)や杖などは、暗闇でもわかるように、蛍光シールを貼っておきましょう。

(2)避難時のことや避難先のことを考えておきましょう

- ・自身が避難したい場所を考え、利用できるか調べておきましょう。(距離、設備などを考慮)
- ・避難経路の確認をしましょう。
(居室から脱出口、避難所までの経路、車椅子で通れるかなど)
- ・救助をお願いする人、また、その人との連絡方法を確認しましょう。
(災害時の救助をお願いしておきましょう)
- ・簡易担架や、担架の代わりになるようなものを用意しておきましょう。



(3)非常用持出品を用意しておきましょう

- ・車椅子が使えないことも考えて準備しましょう。(抱っこ紐、おんぶ紐、杖など)
- ・救助する方に分かりやすい決まったところに置いておきましょう。

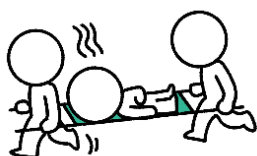
(4)福祉用具の点検及び整備をしましょう

- ・福祉用具の備品などの確認も忘れずに行いましょう。
- ・災害で故障したり壊れたりしないように保管しましょう。
- ・電動車椅子などの予備のバッテリー、充電器具を非常持出袋に用意しておきましょう。

《避難用担架》

子どもが成長していくとともに、移乗・移動で体を抱えることが大変になってきます。災害時の備えとして担架(抱っこ紐・おんぶ紐など)を準備しておく、車椅子が使用できない場合に介助者の負担を軽減でき役立ちます。災害時のみならず、日常での移乗介助や入浴介助などでも使用できるものが販売されているので、使用しやすく体に合ったものを一つ所持しておくのもおすすめです。大人の方を介助する際も、通常より楽に抱えて移動できるものもあります。

※火災や地震などの緊急時にはエレベーターは使用できない、あるいは階段昇降機は使用しにくいと考えておく必要があります。



「避難用担架 肢体不自由」、「抱っこ紐 大人用」、「入浴介助 抱っこ紐」などのワードをインターネットで検索してみると、さまざまな種類の担架や抱っこ紐などが出てきます。

身長・体重、使用用途等に応じて対象となるものが異なりますので、目的に合ったものを使用すると良いでしょう。

介助用の抱っこ紐を販売しているサイトがたくさんあります。
デザインも豊富で畳むとコンパクトになるものも多く、バッグの中に入れておくことができるので便利です。
避難を想定するとマンパワー等の支援が必要だと感じています。
日頃から近所の方とつながりを持つようにしています。



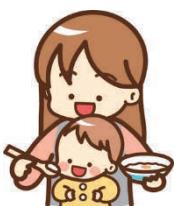
6、その他確認しておく役立つ情報

名称	内容	問い合わせ先
医療的ケア児等 医療情報共有シ ステム（MEIS）	事前登録制。 登録には主治医による入力が必要です。医療的ケアが必要な児童等が緊急時や予想外の災害、事故に遭遇した際に、全国の医師・医療機関（特に救急医）等が迅速に必要な患者情報を共有できるシステムです。 ※ここでの「医療的ケア児等」とは、人工呼吸器を装着している障がい児者及びその他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障がい児者等を指します。重症心身障がい児者も含まれます。	厚生労働省ホームページ  MEIS ヘルプデスク （委託先：株式会社カスタマーリレーションテレマーケティング） TEL:0120-523-252
茨城県にお住まいの医療的ケア児とご家族のための災害対策ハンドブック （PDF で読む） 	ハンドブックの内容は、茨城県医療的ケア児支援センター「みちしるべ」のホームページからもダウンロードできます。 ハンドブックは大きく5つの構成となっています。（1.こどもの情報 2.連絡先リスト 3.災害への備え 4.アクションカード 5.ヘルプカード） ※内容は随時更新することがあります。	茨城県医療的ケア児支援センター「みちしるべ」ホームページ  TEL:029-287-8627
地点別浸水シミュレーション検索システム （浸水ナビ）	想定破堤点や堤防決壊（破堤）後、どこが・いつ・どのくらい浸水するかを知ることができます。 自身の住まいのリスクを確認してみましょう。	国土交通省ホームページ 浸水ナビ 
気象庁：防災情報	防災情報全般について掲載されています。	
国土交通省：川の防災情報ホームページ	雨の降っている地域、洪水予報などの情報が掲載されています。	

* その他、民間の医療的ケア児者減災支援ネットワーク等の災害支援アプリなどもあります。

メモ  ご自由に記入しお使いください

日頃から介助方法やケアの種類などをまとめた
「ケアノート」「サポートブック」などを作成しておく
災害時などにも内容が伝わりやすく便利です。



停電するとミキサー食を作るときに、ミキサーの電源が入らず困ります。
充電式のミキサーや、電源のいらない手動フードチョッパーがあると良い
ですね。介護用品のレトルト食品も多めに保管しています。

参考資料一覧

- 1)つくば市福祉部障害福祉課「災害時対応ガイドブック」「災害時対応ノート」
- 2)広島市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課「医療的ケア児と御家族のための災害時対応ガイドブック～平常時の備え在宅編～」
- 3)岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課「岐阜県医療的ケア児等災害電源確保ガイドブック」
- 4)医療法人稲生会医療的ケア児等の停電時の電源確保について
- 5)国立研究開発法人国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター在宅医療支援室「医療機器が必要な子どものための災害対応マニュアル～電源確保を中心に～」
- 6)茨城県医療的ケア児支援センターみちしるべ「茨城県にお住まいの医療的ケア児とご家族のための災害対策ハンドブック」
- 7)福山市保健福祉局福祉部障がい福祉課「福山市医療的ケア児のための防災マニュアル」
- 8)久喜市福祉部障がい者福祉課「障がい者のための防災の手引き」
- 9)滋賀県「災害時対応ノート」

【肢体不自由児・医療的ケア児の家族会そら～ち】

そら～ちは主に守谷市内で活動しており、肢体不自由児・医療的ケア児・重症心身障がい児に必要な情報を提供したり、ご家族同士や地域を繋ぐイベント等も開催しております。

災害・防災についても守谷市役所と連携し情報交換・意見交換等を継続して行っており、SNS でも災害について情報発信をしています。

※当ガイドブックの医療機器や医療用品の写真を、無断使用・無断転載することはご遠慮ください。



X
(旧 Twitter)



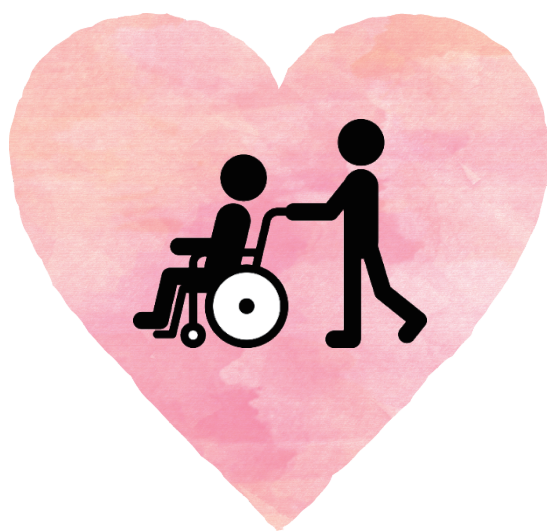
Instagram



Facebook



守谷市 肢体不自由・医療的ケア児等の災害時対応ガイドブック



【制作・ガイドブックに対するお問い合わせ先】

守谷市健幸福祉部健幸長寿課

TEL:0297-45-1111(代表)

肢体不自由児・医療的ケア児の家族会そら〜ち

Mail:sorachi2021niji@gmail.com